

中学校 音楽科学習指導案

指導者 増井 知世子

1 題目設定・教材・授業のねらい

- 日時** 平成28年10月15日(土) 第1限(9:30~10:20)
- 場所** 第2音楽室
- 学年・組** 中学校1年C組 43人(男子22人, 女子21人)
- 題目** いろいろな「魔王」の比較鑑賞
- 目標**
1. 語り手, 父, 子, 魔王の旋律の雰囲気や歌い方の違いを感じ取る。
 2. 発表された意見を整理し簡潔にまとめる力を身につける。意見交流を行い, 共通して感じたことを確認したり, 自分が気づかなかった点を知る。
 3. 複数の演奏(歌手の声域, テンポの緩急, 言語が異なるもの)を聴き比べ, それぞれの特徴や良さを発見する。

教材 シューベルト作曲, ゲーテ詩「魔王」

指導計画 (全2.5時間)

- 第一次 日本語の歌詞による演奏やドイツ語の歌詞による演奏の鑑賞を通して, 詩の内容と曲想との関わりについて理解する。1時間
- 第二次 複数の演奏を聴き比べ, それぞれの特徴や良さを発見する。1.5時間(本時は後半の1時間)

授業について

シューベルト作曲「魔王」は, 詩の登場人物の様子と曲想との関係がわかりやすく, “子どもはなぜ死んでしまったのか”“ゲーテはなぜこのような詩をつくったのか”という謎が心に残る名曲で, 毎年, 中学校1年生に人気のある鑑賞教材である。

本研究大会のテーマに基づいて授業を構想する段階で, 「魔王」の鑑賞とアクティブ・ラーニングを結びつけることを考えた。基調提案でも述べたように, 芸術科では, アクティブ・ラーニングの取り組みにおいて, (1)意見交流を通して学習を深めること, (2)思考過程を“可視化”することを意識して研究を進める。(1)の意見交流は, 第一次の学習段階から行う。(2)の思考過程の“可視化”は, 発表やワークシートへの記入などの方法を考えている。

本授業題目における比較鑑賞のための教材は, 「18人の名歌手によるシューベルト 魔王」というCDのなかから, 次の①~④の4つの演奏を取り上げる。

- ①ソプラノ, ドイツ語によるもの(原曲はドイツ語), テンポが一貫して速い
- ②アルト, ドイツ語, 緩急のつけ方が顕著
- ③登場人物を3人の歌手(テノール, バス, ボーイソプラノ)で歌い分けているもの, フランス語, 管弦楽による伴奏(原曲はピアノ伴奏)
- ④ソプラノ, ドイツ語, 声色の変化が多彩

声色や緩急のつけ方や言語の違いに着目して聴かせ, 表現の多様さや面白さに気づかせたい。前時では, ①と②の演奏について, 主にテンポの変化に着目して鑑賞した。本時では, ③と④の演奏について, 主に声色に着目して鑑賞する。

2 学習指導案

本時の学習目標

1. 複数の「魔王」の演奏を声色や言語の違いに着目して聴き, それぞれの表現の特徴を感じ取る。
2. 意見の交流を行い, 共通して感じたことを確認したり, 気づかなかった点を知る。

本時の評価規準（観点/方法）

音楽への関心・意欲・態度（ア）	鑑賞の能力（エ）
複数の「魔王」の演奏を鑑賞することに関心を持ち、学習に主体的に取り組むとともに、他者の意見を聞いて学習をさらに深めようとしている。/ 観察・ワークシート	複数の「魔王」の演奏を、主に音色に着目して聴き、それぞれの特徴について自分のことばで説明できる。/ 観察・ワークシート

本時の学習指導過程

学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
<導入> ・本時の学習目標の確認、準備	・前時の学習を想起し、2種類(③と④)の「魔王」を鑑賞することを知る。(2分)	・机上のワークシートを確認させる。 筆記用具を準備させる。
<展開> ・全体での鑑賞 ・楽譜へのメモをもとにした言語化	・③、④の演奏を、クラス全体で聴く。(8分) ・楽譜にメモした内容をワークシートにことばで記入する。(5分)	・教科書の楽譜に気づきのメモを取りながら聴かせる。(エ：観察) ・特に④の演奏については、どの登場人物のどのせりふのところで感じた内容であったかを具体的に記述させる。
・グループ内での意見交流、意見のまとめ ・意見発表、共有(全体)	・個人のワークシートをもとに、グループ内で意見交流する。リーダーは話し合いを進め、サブリーダーは意見を集約してグループ用のワークシートに記入する。(10分) ・グループのリーダーは意見を発表する。互いに聞く。(8分)	・グループ内で全員が必ず発言するよう促す。(ア：観察) ・指導者は意見を集約して板書する。(エ：発表内容)
・発表内容の、音による確かめ(全体)	・③、④の演奏をクラス全体で再度聴く。板書された意見を音で確かめる。(8分)	・板書内容を確認しながら聴かせる。
<まとめ> ・学習のまとめ、片付け	・ワークシートに学習のまとめを記入し、提出する。(6分) ・号令後、机の復元を行う。(3分)	・(ア、エ：ワークシート)
備考：教科書「中学生の音楽 1」、CD「18人の名歌手による魔王」、ワークシート（個人用、グループ用）、掲示用カード		

3 反省と課題

本題目の2つの目標、すなわち「魔王」のいろいろな演奏を比較鑑賞することと、アクティブ・ラーニングの取り組みで相互の意見交流から学ぶという目標は、生徒の発表内容やワークシートから、十分に達成できた。第1次からグループ学習に取り組んでいたため、研究大会当日の第2

次での学習においても、生徒はよく話し合い、発表することができた。

アクティブ・ラーニングは、内化と外化の往還がポイントであるが、50分の研究授業でその双方を十分に達成するのは難しい。アクティブ・ラーニングのあり方を引き続き探究していきたい。